

通し番号	3780
------	------

分類番号	12-6B-22-17
------	-------------

(成果情報名) カナガワヨークとランドレース系統造成豚との相性検定試験	
<p>[要約] ランドレース種の系統豚造成を行っているが、将来の交配豚であるカナガワヨークとの組合せの相性を良好なものとするため、両豚の組合せによるF1母豚の生産さらに肉豚の生産検定試験を行い、系統造成、選抜の一助としている。</p> <p>平成12年度は、第3世代豚とカナガワヨークとのF1による肉豚生産と第4世代とカナガワヨークの交配によるF1生産を行った。</p> <p>F1の生産では、新系統豚各世代とカナガワヨークとの各組合せでもおおむね順調な成績であった。</p> <p>3元交雑種の生産(F1母豚の分娩)も各組合せ間の差は認められなかった。肥育期間も通常の肥育豚と同様であった。</p>	
(実施機関・部名) 畜産研究所・畜産工学部	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

新系統豚の造成にあたり将来の交配豚であるカナガワヨークとの組合せの相性を良好なものとし、高品質で低コストな豚肉生産を推進するため、両豚の組合せによるF1母豚の生産さらに肉豚の生産を行う。これによって、優良、不良な血統の確認を行い、新系統豚造成、選抜の一助とする。

[成果の内容・特徴]

1 F1母豚生産検定試験

各交配とも概ね順調な成績であったが、2、3世代ともカナガワヨークの産子数が新系統造成豚より多い傾向であった。第4世代とカナガワヨークの交配では、特によい成績であった。F1の生産では、新系統豚各世代の成績がよく反映されているようである。

2 肉豚生産検定試験

平均産子数は、F1生産時と同様に各組合せ間に差は認められなかった。育成率では、ほぼ同様であったが、聞き取りによるとLWの方が離乳時の発育が良く、母豚の泌乳力が高いようであった。

3 肉豚産肉能力検定試験

105kg到達日齢は172.9日、一日平均増体重は792gであった。背腰長は、69.7cmであった。平均脂肪厚は、25.6mmであった。ロース断面積は、23.8cm²であった。

[成果の活用面・留意点]

新系統造成豚の完成と同時に活用予定である。

[具体的データ]

表1 繁殖成績(F1生産)

	交配雌数	交配雄数	分娩頭数	分娩時期	平均産子数				離乳頭数			育成率	離乳時 総体重	合計候 補頭数
					合計	雌	雄	死産等	合計	雌	雄			
L 2 × W	5	3	5	98.12.21 ~ 12.6	8.8	4.2	4.6	0.6	8.8	4.2	4.6	100%	-	19
W × L 2	5	1	5	98.12.2 ~ 99.2.5	10.8	5.6	5.2	1.4	9.6	5.6	4.0	88.9%	69.6	23
L 3 × W	5	3	3	99.11.7 ~ 11.12	9.3	5.0	4.3	0.7	7.3	4.7	2.6	78.5%	-	13
W × L 3	7	3	7	2000.1.1 ~ 2.21	10.3	-	-	0.6	9.3	4.2	5.1	90.3%	-	29
L 4 × W	5	3	5	2001.12 ~ 4.3	11.2	4.0	7.2	2.2	9.6	3.6	6.0	85.7%	50.9	-

平均産子数合計は、死産等を除いた生産子豚数

表2 繁殖成績(肉豚生産)

	交配雌数	交配雄数	分娩頭数	分娩時期	平均産子数				離乳頭数			育成率	離乳時 総体重
					合計	雌	雄	死産等	合計	雌	雄		
L 2 W × D	10	4	10	99.9.15 ~ 11.23	9.0	5.2	3.8	0.3	8.3	4.7	3.6	92%	44.9
W L 2 × D	10	4	6	99.11.30 ~ 2000.2.8	9.7	5.5	4.2	0.3	8.7	5.2	3.5	89.7%	51.4
L 3 W × D	10	4	10	99.9.15 ~ 11.23	10.4	-	-	-	9.7	-	-	93%	-
W L 3 × D	10	4	6	99.11.30 ~ 2000.2.8	9.5	4.8	4.7	0.4	9.2	4.7	4.5	96.8%	-

平均産子数合計は、死産等を除いた生産子豚数

W L 2 × Dは、交配頭数のうち1頭が流産、他は分娩日前

表3 産肉能力検定成績

		105 k g 日齢一日平均増体重	飼料要求率	出荷体重	枝肉重量	枝肉歩留	ハム率	背腰長	平均脂肪厚	ロース断面積	胸腰椎数	
L 2 W × D	(10)	169.8	827.6	3.24	110.1	71.9	65.3	28.3	70.1	26.7	23.7	21.3
	(10)	175.8	759.9	3.39	107.7	70.2	65.2	28.9	69.4	24.7	23.9	21.2
	全体(20)	172.9	792.0	3.32	108.8	71.0	65.3	28.6	69.7	25.6	23.8	21.3
L 3 W × D	(11)	肥育中										
	(9)											
	全体(20)											

[資料名] 平成12年度試験研究成績書(繁殖工学・養豚)

[研究課題名] カガリヨクとリントレス系統造成豚との相性検定試験

[研究期間] 平成10 ~ 15年度

[研究者担当名] 峰崎洋通・青木稔・矢後啓司